

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部海洋情報課  
海洋空間情報室  
主任海洋空間情報官 長岡 継  
03-5500-7132



平成25年5月17日  
海上保安庁

## 海洋台帳に利用者が持つデータを表示できるようになりました！

海上保安庁が運用している「海洋台帳」は、昨年5月18日に公開以来1年を迎えますが、この度、船舶通航量に関する詳細情報、波浪統計情報、水路測量特級区域情報<sup>(※)</sup>を追加するとともに、利用者が持つデータを表示できるようになりました。

「海洋台帳」は、海洋空間利用の促進を目的に、利用者が各海域の状況を迅速・的確に把握するためのツールとして、内閣官房の総合調整の下に政府一体として構築されたインターネット上のGIS（地理情報システム）サービスです。

昨年5月の公開以来一年を迎えますが、これまでに延べ約300万件のアクセスがありました。

この度、公開1周年を機に、

- ① 利用者が保有する独自データを海洋台帳上に自由に重ねて表示・保存できる機能を追加
- ② 船舶通航量に関する詳細情報（日本船籍・外国船籍の種別及び船の全長）、波浪統計情報、水路測量特級区域情報を追加するなど機能の向上を図りました（付図参照）。

これにより、利用者が保有する独自データ（デジタルデータ）を「海洋台帳」に読み込むことで、データを地図上にプロットする作業が半自動化され、これらのデータを容易に地図上で表示して（重ね合わせて）参照することが可能になります。

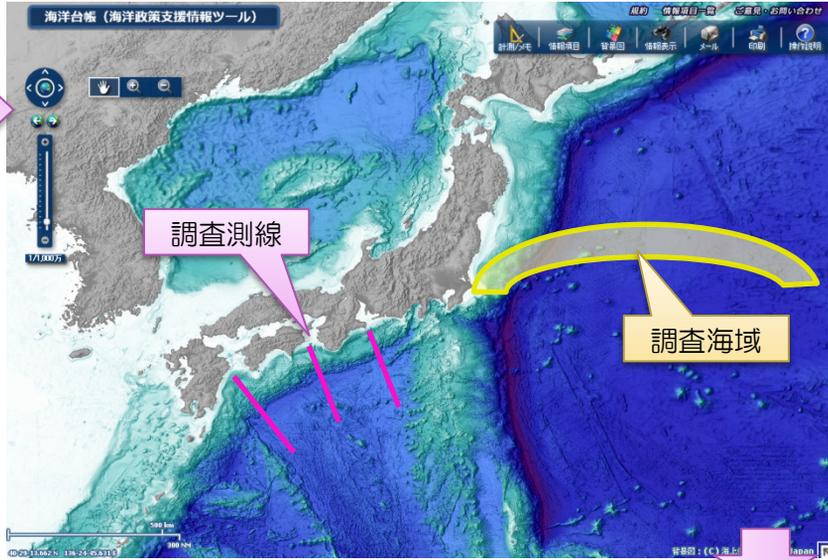
また、新たに3項目の登録情報を追加したことにより、「海洋台帳」の登録情報は100項目になりました。

『海洋台帳URL : <http://www5.kaiho.mlit.go.jp/kaiyo/> 』

※ 重要な航路で、特に精密な測量を必要とする区域のこと。

# ◆ユーザーが持つ独自データの読み込み、修正、保存機能の追加

海洋台帳に「自分が持つデータ」を重ねられます！



ユーザーが持つ独自データ

- ・ 調査測線
- ・ 調査海域

～対応可能なフォーマット～

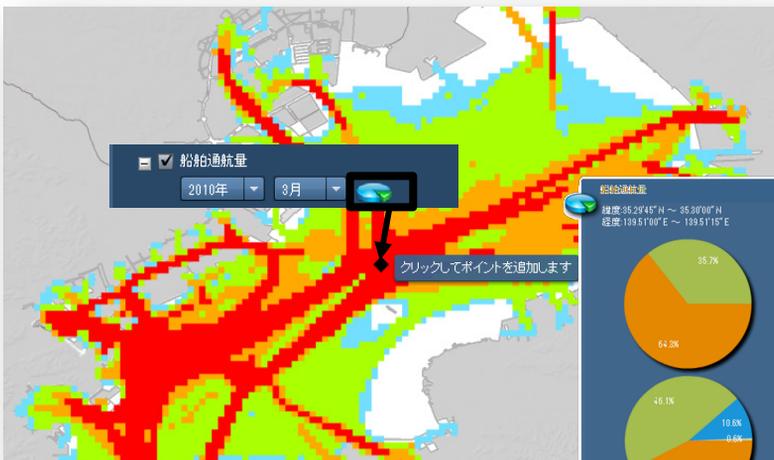
KML   
 Excel  
 csv,txt

ユーザーが持つ独自データを他の情報と重ね合わせ、検討した結果を保存！



# ◆船舶通航量の統計データの充実

➤背景画像による提供→ 任意の地点の船籍、全長別の通航隻数表示が可能に！



船舶通航量

緯度:35.2945°N ~ 35.3000°N  
経度:139.5100°E ~ 139.5115°E

船籍別	艘数
日本船	315
外国船	175
船籍不明	0

船舶の全長別	艘数
全長100m未満	209
全長200m未満	226
全長200m以上	52
長さ不明	3

船舶通航量:490隻